



RENAULT NISSAN MITSUBISHI

ルノー・日産自動車・三菱自動車、Google と次世代インフォテインメントシステムで提携

- 世界最大の自動車アライアンスが Google とグローバルでの複数年契約に合意。高度なインフォテインメントシステムをルノー、日産自動車、三菱自動車の車両に搭載
- 世界で最も普及しているオペレーティングシステム Android を使用し、Google アシスタント、Google マップ、Google Play ストアを含む数多くのサービスをお客さまに提供
- これらのサービスは、アライアンスインテリジェントクラウドをベースとした遠隔でのソフトウェアアップデートおよび車両診断機能と組み合わせられる

ルノー・日産自動車・三菱自動車と Google は本日、同アライアンスの車両に Android のオペレーティングシステム（以下、OS）を搭載し、高度なインフォテインメントやドライバー向けアプリケーションを複数のブランドと車種で展開するため、技術提携を結んだことを発表しました。なお、この次世代インフォテインメントシステムの車両への搭載は 2021 年からを予定しています。

今回の技術提携のもと、世界で最も普及している OS である Android をアライアンス各社が販売する車両で使用するとともに、Google マップによるターンバイターン表示のナビゲーションや、Google Play ストア上の豊富な自動車用アプリケーションのエコシステムの利用、内蔵の Google アシスタントを活用した音声による電話・メールへの対応、メディアの操作、情報検索や車両機能の管理が可能となります。

昨年、200 の市場で年間 1060 万台を販売したルノー・日産自動車・三菱自動車は、Google のアプリケーション・サービスを車載インフォテインメントおよびクラウドベースのシステムと統合することで、ルノー、日産自動車、三菱自動車のお客さまの体験を充実させていきます。この Android のプラットフォームは幅広い車両に展開されますが、この共通プラットフォームをベースに、各ブランドは柔軟に独自のユーザーインターフェースや特有の機能を提供していきます。

今回のインフォテインメントに関するパートナーシップは、2022 年の終わりまでに年間 1400 万台以上の販売台数を目指す中期計画「アライアンス 2022」の中で掲げているコネクティビティとクラウドベースのサービスをより多くの車両に搭載していく取り組みの一環です。同計画にはこの他、12 車種の新型ゼロ・エミッション EV や自動運転技術、アライアンスインテリジェントクラウドの導入などが含まれています。

アライアンスインテリジェントクラウドは、データ管理とインフォテインメントシステムを統合し、無線通信アップデート、遠隔診断をアライアンス各社の車両で行うことを容易にするプラットフォームを提供することで、次世代インフォテインメントシステムに安全なコネクティビティをもたらします。

アライアンスと Google の最新技術を組み合わせることで、アライアンスメンバー各社の車両は市場で最も高度なインフォテインメントシステムの一つを備えることになります。

ドライバーと乗員は Google と Android の機能を活用することで、何千もの既存のアプリケーションや絶えず増え続ける新しいアプリを含むエコシステムを利用できるようになります。Android 開発者の幅広い知識と巨大なコミュニティをシステムと組み合わせることで、車内で数多くの人気アプリを簡単に利用できるようになります。また、このシステムは Apple iOS のような他の OS を搭載しているデバイスにも対応する予定です。



RENAULT NISSAN MITSUBISHI

ルノー・日産自動車・三菱自動車で事業開発を担当するアライアンス シニアバイスプレジデント(SVP)のハディ ザブリットは、「現在は車外もしくはモバイル端末を対応車両に繋ぐことで利用できる優れたユーザー体験を、この Google とのパートナーシップにより、提供することが可能になります。Google マップ、Google アシスタント、Google Play ストアなど、多くのユーザーが慣れ親しんでいる Google のアプリケーションやサービスに加え、パワフルかつシームレスなコネクテッド体験を我々の車両を通して提供していきます。」と述べました。

ルノー・日産自動車・三菱自動車でコネクテッド車両の開発を担当するアライアンス グローバルバイスプレジデント(GVP)のカル モスは、「Android プラットフォームをインフォテインメントシステムに組み込むことで、新しいレベルの知能を我々のコネクテッドカーに加えていきます。将来的に Google アシスタントは Google の優れた AI(人工知能)技術を使い、お客さまと車両とのやり取りの主要な手段となります。Google マップと Google アシスタントをアライアンスのインフォテインメントシステムに組み込むことで、お客さまは最先端の AI ベースのアプリケーションをすぐに利用できるようになります。そして、Google Play ストアに車内からアクセスすることで、お客さまはオープンで安全な自動車用に設計された Android アプリのエコシステムを満喫することになるでしょう。」と付け加えました。

Google でプラットフォームとエコシステムを担当するシニアバイスプレジデントのヒロシ ロックハイマーは、「Google とルノー・日産自動車・三菱自動車は、親しみがあり、アップデートが可能でコネクテッドされたアプリやサービスによる、高度かつ安全でシームレスな車内体験を提供するという共通のビジョンを持っています。我々はルノー・日産自動車・三菱自動車とパートナーシップを組み、Google アシスタント、Google マップやその他の人気アプリを Play ストアや Android を通して、世界中のドライバーと乗員に提供できることを喜んでいきます。」と述べました。

以上

ルノー・日産自動車・三菱自動車について

ルノーグループ、日産自動車、三菱自動車は世界最大の自動車パートナーシップを結んでいます。また、多文化にまたがるパートナーシップとして、自動車業界の中で最長の継続期間と最高の生産性を誇ります。2017 年には、パートナー各社合計で、世界の 200 か国近くで 1,060 万台以上の車両を販売しました。3 社は競争力強化のため、協業とシナジー最大化に注力しています。また、3 社はドイツのダイムラー、中国の東風汽車などの自動車メーカーと戦略的な協力関係を結んでいます。本戦略的アライアンスは、ゼロ・エミッション車における業界リーダーであり、最新の先進技術を開発しながら、自動運転およびコネクティビティの機能やサービスを、手頃な価格の幅広い車種で提供していく予定です。